



公民館図書だより

北塩原村公民館 令和3年9月 第4号



朝晩の風に秋の気配が感じられるようになりました。みなさま「秋の七草」をご存じでしょうか。お詳しい方も多いと思いますが、秋に咲く野花を7つ挙げているもので、観賞して楽しめます。万葉集にある山上憶良の以下2首が起源といわれています。

「秋の野に 咲きたる花を 指折り かき数ふれば 七種の花」
「萩の花 尾花葛花 なでしこの 花をみなへし また藤袴 朝顔の花」

萩、尾花(ススキ)、葛、撫子、女郎花、藤袴、桔梗(中国原産の朝顔は、まだ伝来していなかったとされ、桔梗説が有力だそうです)の7種です。千年以上前に歌に詠まれた草花ですが、身の周りにあるのか探してみました！



ナadeshiko(生涯学習センターにて撮影)



クズ(村内で撮影)



ハギ(村内で撮影)



キキョウ：(村内で撮影)



ススキ(村内で撮影)

フジバカマはほとんど見られなくなってしまうそうです。

オミナエシは見つけれませんでした…。見つけた方、教えてください♪

- 【関連図書】 『万葉のうた』 著／大原富枝 絵／岩崎ちひろ 童心社
 『大和編万葉風土記(1)』 著／猪俣静彌 偕成社
 『現代に生きる万葉名歌万葉ロマン紀行』 著／吉野正美 偕成社

岩崎ちひろの挿絵が
すてきです！

今月のミニ展示

今月の展示テーマは、『アートにふれて』です。図書室に芸術の秋到来です。絵画・写真・音楽に関する本を集めました。併せて2階図書室には貴重な美術全集を展示しております。ぜひ見に来てください。



今月のおすすめ

『ザリガニの鳴くところ』

著/ディーリア・オーエンズ 早川書房

1950年代のアメリカ。貧しい白人の少女カイアは6歳で家族に置き去りにされました。湿地の中で1人きりで生きてきたカイアにとって、人生の師は自然そのもの。美しく聡明な女性へと成長したカイアですが、殺人事件の容疑者として逮捕されてしまいます。ミステリーとしてもドラマとしても、最高におもしろい1冊です！

著者は動物学者でもあり、自然の描写にも注目です。

2021年本屋大賞翻訳小説部門第1位

ブックスタート

～赤ちゃんに絵本のプレゼント～



北塩原村では3・4か月健診時に、赤ちゃんに絵本をプレゼントするブックスタートを実施しています。絵本を真ん中に楽しいひと時を過ごしていただけたら嬉しいです。

公民館には赤ちゃんと一緒に読める絵本も多数所蔵しております☆

今月のおすすめ 児童書・えほん

児童書

『^{トラベル}トラブル旅行社 ^{さばく}砂漠のフルーツ^が狩りツアー』

著/廣嶋玲子 金の星社

『銭天堂』シリーズでおなじみの廣嶋玲子さんのどきどき冒険物語！たまたま見かけたふしぎな旅行代理店に入った小学生の大悟は、しゃべるフクロウの案内役と一緒に砂漠旅行へと飛ばされてしまいました。

キャラバンの生活にも慣れてきたころ、盗賊におそわれてしまいます。大悟の旅行は無事終わるのでしょうか…。

えほん

『ブルガリアのむかしばなし 金の鳥』

文/八百板洋子 絵/さかたきよこ BL出版
世界各地に伝わる昔話は、その土地の風土や文化が反映されていると言われています。

日本から遠く離れたブルガリアの昔ばなしには、3人の王子さまにお姫さま、金の鳥や空飛ぶ馬が出てきます。

お子さんはもちろん、大人も童心に戻って楽しんでみてください。



<お問い合わせ> 北塩原村公民館 Tel. 23-5236

生涯学習センター図書スペース 9:00~17:00(土・日・祝休館)